Ⅲ農林水産省から

「ツマジロクサヨトウ」に注意 飼料用とうもろこしに発生中

農林水産省 生産局 畜産部 飼料課

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで発生範囲を拡大中
- アフリカでは、とうもろこしに甚大な被害
- ●日本では本年7月に、鹿児島で初めて発生を確認
- ・飼料用とうもろこしで多く発生しており、被害の拡大による 畜産経営への影響が懸念されます



ツマジロクサヨトウの特徴

幼虫の食害による被害



幼虫が葉、茎、子実を食害

飛翔距離が長い、 繁殖力が強い





- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150~200個
- ・生涯産卵数は最大1000個

形態の特徴



- ・幼虫の頭部には網目模様があり、 「逆Y字」に見える。
- -幼虫の体長は、1.7~40mm

多発すると被害が大きくなるおそれ!!

早期発見・早期防除 が不可欠



農薬散布による防除



早期の収穫

・ 被害の拡大防止のため、

- ✓ <u>飼料用とうもろこしのほ場に発生していないか確認</u>し、 疑わしい害虫を発見した場合は、<u>速やかに問合せ先ま</u> <u>でご連絡</u>ください
- ✓ 発生が確認されている地域(※)では、農薬の散布、早期の刈取を検討してください
- ✓ 周辺地域でも、状況に応じて早期の刈取を検討してください
- ✓ 刈り取り後は、速やかに耕転してください

(※) ツマジロクサヨトウに関する情報はこちらで確認(http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)

〇問合せ先

横浜植物防疫所:tel 045-285-7135 門司植物防疫所:tel 093-321-2809 名古屋植物防疫所:tel 052-659-1357 那覇植物防疫事務所:tel 098-868-1679

神戸植物防疫所:tel 078-389-5320